

総会

議長を仁村議子様(NPO 法人IWC国際市民の会)にお願いしました。

①2013年度活動報告・②2013年度会計報告・③2014年度活動計画・④2014年度予算案等の議案説明、⑤役員の推薦があり、各議案は出席者全員の賛成で承認されました。

①③は事前に会員メンバーに郵送し、②④は会場で配布しました。

情報交換会

区部8名、市部13名が参加、市部各地の様子が多く報告されました。

報告を以下にまとめました。

学習者と支援者

- 参加する学習者が減少。
- 2011年を境に韓国人が減少している。
- 韓国人はあまり減っていない。
- 多くの団体でネパール人・ベトナム人の増加。媒介語のないベトナム実習生の対応を工夫している。
- 留学生対象と生活者対象の2教室、ベトナムの実習生の支援をしたい(媒介語がない)
- IT関連の学習者
- 西洋人学習者が比較的多い/欧米・アジア半々。
- 全体的には多国籍化が進み学習者の幅が広がっている。

学習の場

- 学習指導に東京外国語大の学生に専攻言語で支援して貰っている。
- 児童支援を主に子育て支援や国語などの宿題を見る。
- インターネットの活用が紹介された。

共同・連携

- 町田3団体で互いに協力。
- 多摩地区の日本語ネットワークに参加。

- 東京都第10ブロック*では年4回合同交流が行われ、防災対策等話し合う。

*東京都が都内の区市を10のブロックに分けています。

会場の確保

- 無料提供(但し支援者は賛助会費を払う)
- 市から無料提供
- 市と事業委託契約を結んで教室・資料の無料提供。
- 学校の空き教室が開放されて活動拠点として使用している。
- 小学校6校の内3校が廃校、その後が国際交流広場となる。
- 教室確保は今も難しい。

資金等の支援

- 発足当時市の予算が潤沢で、いろいろな活動が出来たが、今は5000円/年。
- 会社からの寄付や助成金に応募する。
- 行政支援は全くない。
- 行政との関わりはなし。教室紹介してくれる程度。イオンの黄色いレシートキャンペーンで売り上げの1%を活動資金として貰える。

会の運営

- 羽村市の団体は市のFacebookを使ってPR、若い会員も増えた。
- 歴史は浅いのでPR活動を積極的にを行い、認知されるようになってきた。
- 会が大きくなり役割分担をしているが、若い人で役割分担を嫌う傾向がある。
- ボランティアは全て役割分担が義務。

支援活動の広がり

- 区民センターが活動の中心。光が丘だけでコミュニティが出来ている。
- 地域に住む外国人と友人・隣人関係を築き、地域の日本語教室が学習者・ボランティアの居場所となっている。

TNVN第21回総会が開かれました

市部で活動をしている会員団体の皆さんが多く出席されました。

2014年4月20日(日)午後1時から第21回総会を、引き続き2時過ぎから情報交換会を東京ボランティア・市民活動センターの会議室で開きました。正会員16団体(19名)が出席、43団体が委任状で、正会員総数82団体の半数以上となり総会が成立しました。賛助会員1団体、協力会員1名も参加しました。



韓日社会文化 フォーラムの紹介



寄稿

..... 韓国非営利民間団体 韓日社会文化フォーラム 代表理事

金 賢廷
キム ヒョンジョン

初めまして。韓日社会文化フォーラム(以下、韓日フォーラム)は、韓国の外務省に登録された非営利民間団体で、日韓問題をめぐる正確な情報と多様な意見を自由に交換するための場として1999年に作られた団体です。日韓の多様なグループ間の対話を実現するため、日韓ジャーナリストフォーラム等、各種のフォーラムを開催してきました。

2006年には実質的な相互理解と交流事業を重点事業とするために組織を立て直し、日本の自治体やNGO・NPOと協力して日韓文化交流を行うようになりました。大学生インターンシップ、ボランティア、ホームステイ、高校生交流、スポーツ交流、ワーキングホリデーなどの実施を通じて日韓文化交流を行って来ました。

2006年から、日本での職場体験を希望する韓国大学生を日本の自治体やNGO・NPOに紹介する事業を実施しています。これは韓国の政府と大学が費用を全額支援して単位を認める16週間の無給インターンシップ事業の一環ですが、2011年以降は熊本市国際交流振興事業団(KIF)をパートナーとして実施しています。韓国人大学生の満足度は驚くほどに高く、今年から、インターンシップに参加する韓国大学生が「くまモンのモンバサダー」として熊本営業部長の仕事を手伝うことになっています。

2010年から毎年1回、真夏の1週間、韓国全国から集まった20名の高校生が島根の高校生たちと一緒に出雲海岸で漂着物回収ボランティアを行っています。日本側のパートナーは島根県国際課及び廃棄物対策課です。

2011年3月11日に発生した東日本大震災の際には、韓国でボランティアを募集したところ、わずか1週間で志願者が500人を超えました。

2012年からは「アジア希望キャンプ」を進めていますが、これは日韓関係の次世代を担う日韓の青年たちがアジアの貧困と災害の地域に希望を与えるボランティア活動を共同で行うというプログラムです。

「韓日フォーラム」は2011年、夏、宮城県の被災地であった「日韓ボランティアフォーラム」に集まった日韓をはじめ、世界の青年たちと「災害を乗り越えて世界へ未来へ」というスローガンを掲げましたが、「アジア希望キャンプ」はそのスローガンの実践案です。

2015年には日韓国交50周年を迎えますが、「韓日フォーラム」は今年から日本と韓国で「日韓次世代フォーラム」を年1回行うことにしました。第1回日韓次世代フォーラムは、2014年6月27日、韓国のソウルで開催されます。この次世代フォーラムのテーマは、「日韓青年の相互理解と交流・協力のために日韓の皆が一緒にできる新しいこと」です。

「韓日フォーラム」は、韓国から東京にワーキングホリデー査証で入国して長期滞在する韩国人の若者たちをサポートする交流事業も行っています。日韓政府間のワーキングホリデー制度は、1999年から実施しており、2011年以降、ビザの発行者数は1万人を超えています。その韩国人若者が日本語のボランティアと日本定着サポートが受けられるようになれば嬉しいです。

弊団体は、日本語ボランティア活動を見習って、韓国語ボランティア活動と定着サポートを今年の6月から始めます。ソウル滞在の多くの日本人がこの韓国語ボランティアと定着サポートを受けられるように周りの方々に紹介をお願いします。韓国家庭ホームステイも紹介していますので、皆様にもご利用頂ければ嬉しいです。

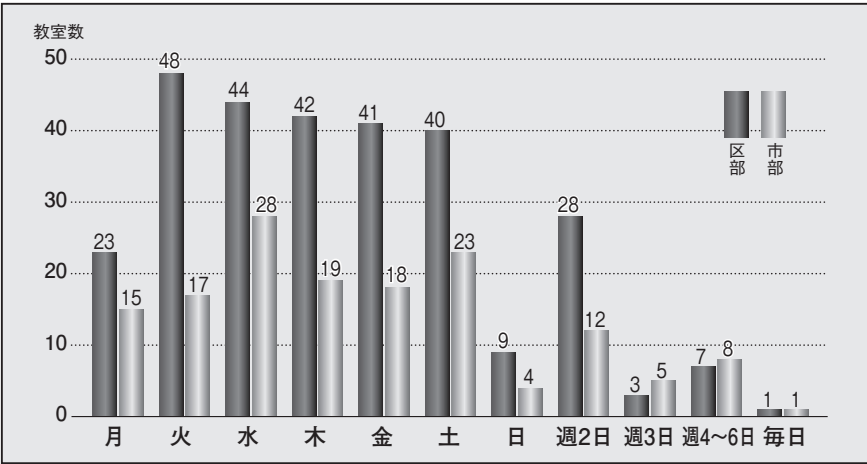


ボランティア日本語教室の活動状況

TNVNは2014年3月に「ボランティア日本語教室ガイド2014東京」を発行しました。そこには都内で活動する209団体・268教室が掲載されています。「ガイド」に掲載されている教室内容を項目別に整理し、区部と市部に分けてグラフにしました。次号にも続きを掲載します。

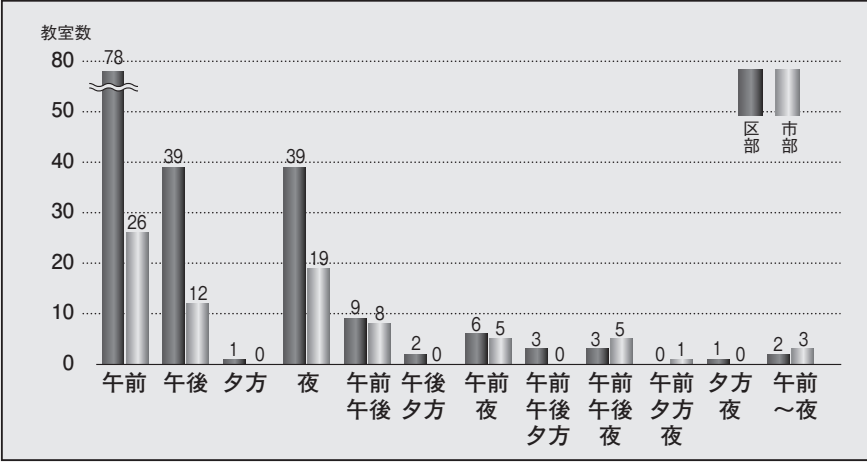
活動曜日

区部は火曜から土曜までほぼ平均し、市部は水曜と土曜が多い。また週2回は40教室で全体の15%、週3日以上は25教室9%。1/4が複数日の教室を開いている。



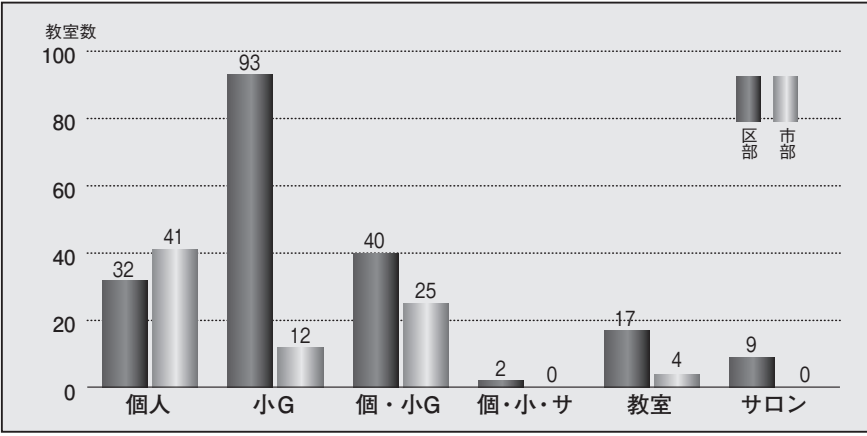
活動時間帯

午前の活動が最も多く、次いで夜と午後になっている。また時間帯を通して開いている教室は2つの時間帯が31教室、3つの時間帯が17教室あり、学習者に便宜が図られている。



クラス形式

学習者に対応しているクラス形式で、区部は小グループが多く、次いで個人・小グループ。一方市部は個人対応(1対1)が最も多く、区部より多い。市部の特性が出ている。



私は「日本語の習い方」をご紹介します

日本語教師 金子 広幸

「日本語を教える」仕事以外に私にはもう1つの仕事があります。それは、「日本語を伝える人の手伝いをする」仕事です。日本語教師養成講座や、地域の日本語支援のボランティア養成講座などで、これから日本語教育、日本語支援を始めようとする人たち、現役で活躍している人たちの手伝いです。

そうした場所で、必ず言われるのが「教え方を教えてください」と一言です。これは、私が初めて日本語教師養成の仕事をした22年前からの長い疑問点です。

昔は、地域で日本語クラスができると、日本語学校の日本語教師が、その学校のクラスを切り取ってきて、地域のボランティアメンバーに、日本語学校の教え方を教えていました。国も社会も「日本語を教える場所なんだから、日本語学校のやり方がいいんだ」と考えていて、それが最善の方法だと思っていた時代があったのです。

ですから、私が日本語教師だとわかると、どこでも「日本語の教え方を教えてください」と言われ、私は「クラスでやっていることをご紹介します」と前置きして、その活動を面白おかしく紹介していました。

この光景は、まるで川のこちら岸に

いる私が、一人の役者として対岸の観客に対して、演技をしているようでした。ボランティアのみなさんは観客として、自分の観点で私の演技を取捨選択しているように見え、一種の疎外感が私にはありました。

この問題への答えを出すチャンスが、ある信頼する同僚と話していた時、到来しました。その人がこう言ったのです。「「教え方」を知りたいボランティアが多いけど、実は「習い方」が分からないといけいないんだよね」と。その時、突然答えが頭にひらめきました。「金子は「教え方を教える」のじゃなくて、「学習者が日本語をどう習っているのか」を紹介する仕事をするのだ」と。

深く見ましょう。どう教えるかは、学ぶ人がどう習うかを観察することから始まります。この方向性は、真に学習者の中に効果を生じさせたいと思ったとき成立します。反対はどうでしょうか。どう習うかを探求するために、教える人がどう教えているかを観察するというのは、多く、「あの先生、教え方がいじょうぶかな」という猜疑心から始まることもあります。つまり後者では、いつも教える人主体の理論です。

前者には、「学習者によって習い方は様々だが、その習い方の多様性を認めて、どう対応するか考える」とい

うことが見えますが、後者には「教える者の理論にどうあてはめるか」という、乱暴な側面もある気がします。

「学習者が『み●●の日●語』を持ってきて、「先生!教えてください」って言うんですよ。だから「教える」んです。これは学習者のニーズです!」という声もときどき聞かれます。こんなとき、よく話を聞いてみると、学習者の「日本語の習い方」を、伴走者であるボランティアのみなさんが把握していないことがよくあります。もしかしたら、その学習者は「(習い方を)教えてください」と言っている可能性もあると思うのです。伴走者が、いつも自分のペースで走ったら、主役の走者は、途中でへこたれてしまいますね。

ボランティアのみなさんは「学習者が自分で学習して習得していくことをサポート」するんですね。従来の「日本語教師まがいのボランティア」を養成する必要はないのだ!とそのサポート団体が展望として明示できれば、何より自分のペースで日本語学習をしているおとなの学習者には幸せなことだと思います。

ボランティアのみなさんは日本語学習者の伴走者。私は「学習者の日本語の習い方を、その伴走者に紹介する」。これからは、これで行きます。

東京大学国際センター相談室



国際センター相談室では、東京大学に在籍する留学生、外国人研究者とその家族をサポートするために、さまざまな相談に応じています。また、大学内の各学部にも留学生の担当窓口があって、留学生などをサポートしています。

相談室ができたのは1990年で、その当時は留学生センターとよんでいましたが、現在は国際センターとなって、留学生受入れだけでなく、送り出し(学内学生の海外留学)の相談もするようになりました。

外国人留学生、研究員は2912名(2013年5月現在)、そのうち学部生は約1割(279名)で、9割(2,633名)は大学院生です。国別では中国が一番多いです。2011・3・11以後、一時的に学生が減りましたが、今は以前の数まで戻っています。世界中の国からの、多様な文化背景や宗教の学生がいるため、食堂ではハラルフードやベジタリアンフードにも対応するようになりました。

日本語・英語・中国語で利用できます。

月曜日から金曜日の午前10時から午後5時半まで、留学生・外国人の問題に詳しい5人の相談員(常勤)が日本語・英語で対応している。週に2回、中国語でも相談できる。また、メール・電話などでの相談も可能。

東京大学国際センター相談室は、本郷キャンパス龍岡門を入ってすぐの第二本部棟3階にあります。私たちは、大きな窓から爽やかな緑がのぞまれる、明るく広々とした交流ルームで、居心地よく配置された丸テーブルに座って、スタッフの原田麻里子さんと大久保澄子さんにお話をうかがいました。

どなたでも利用できます

在学する外国人留学生、外国人研究員はもちろん、家族の方と関係者(教職員、学生、市民の方)が利用できる。昨年度の相談件数は、学内3,000件、学外(外国から)1,300件。

どんな相談でも受け付けます

最近では、就職やメンタル(異文化適応など心理的問題)の相談が目立って多くなっている。日本で就職したいという学生が増えているが、研究には日本語が必要ではない留学生(理系学生に顕著)も就職には日本語が欠かせない。日本語の就職サイトに辿り着くことすらできない学生もいるので、日本での就職を希望する学生には、早くから日本語を勉強するようにと助言している。また、東アジアの国の学生は、自分自身で将来を選ぶことが難しい傾向にあることが気になる。

FACE(Friendship And Cultural Exchange)ってなに?

留学生と日本人ボランティアが1対1で日本語で交流し、相互理解を深めるためのface to faceプログラム。地域との連携の重要性から推進している活動。学生は日本語会話の練習だけでなく、

日常生活のさまざまな相談にのってもらえる。交流は、場所も頻度も両者で相談することができる。組み合わせをする時、相談員は事前にしっかり希望と状況を聞きとり、十分な配慮をしている。出会いを大切にするという考えから、出会う前に相手の情報は知らされない。ボランティアは広く募集している。

留学生の実施する活動を支援します

留学生が自主的に留学生会を作り、五月祭などに参加している。

また、年に2回防災訓練を実施している。最近の訓練には、23か国、44人が参加した。

大学構内とさきと、少し堅苦しい印象がありましたが、地域でも日本語ボランティアをしている大久保さんや原田さんのような経験豊かなスタッフの力で、学生もボランティアもお互いを信頼することができ、将来につながる国際交流が行われていると思いました。

(岡田美奈子、林川玲子、山本英子)



■学習者がワクワクするクラスを目指す

日本語ボランティア翼の会(夜の部) (羽村市)

平田 洋樹

翼の会は羽村市で活動する日本語ボランティア団体です。今年の3月からTNVNのメンバーに加わりました。宜しくお願いします。

団体の設立は古く今年でちょうど20年。スタート当初はTNVNのサポートを受けていました。「日本語がわからない人でも、生活に密着した言葉をおぼえて日本で楽しく暮らせるように」という思いで活動しています。現在登録しているボランティアは約40名。10代から70代まで幅広く、市内だけでなく青梅市、福生市、あきる野市、瑞穂町など周辺地域からの参加者が多いのが特徴です。これは若いスタッフがウェブサイトで積極的に発信しているからだと思えます。

クラスは毎週火曜日の夜19:30～21:00 市役所隣のコミュニティセンターにて。基本的にマンツーマンです。毎週クラスの写真を撮ってFacebookにアップしています。これにより仕事の都合で出席できなくても誰とだれが来たか分かります。又Facebookの良いところはメンバーが旅行に行った写真や子供の行事を紹介したりして皆んなとの一体感を感じることが出来ることです。帰国した元学習者も近況写真を送ってくれます。1年間ではけっこうな数の写真がたまりまます。その中から皆んなでベストショットを投票で選び出します。これがけっこう盛り上がりまます。

その他の活動では毎年7月末の「はむら夏まつり」に模擬店を出しています。我々の作る「チョコバナナ」は子供達に大好



評。ボランティアスタッフと学習者で協力して1000本を売ります。儲かったお金でTシャツを作ったり遠足に行くのが楽しみです。

ここ数年、学習者のニーズは益々多様化しているように思われます。そのすべてに応えることは出来ませんが、翼の会に来て良かったと感じてもらえるよう努力します。またTNVN各団体皆様の蓄積されたノウハウを教えていただき、ネットワークをさらに広げていきたいと思えます。

●翼の会のホームページのアドレスとFacebookのアドレスです。ご覧ください。
<http://tsubasanokai.jimdo.com/> www.facebook.com/tsubasanokai

会員団体紹介

Nice to Meet You

nice to meet you

■いつも笑顔で国際交流

木曜日の日本語教室 (葛飾区)

田島 勇二

毎週木曜日、午後7時から9時迄、8月は夏休み、場所は京成青砥駅から徒歩5分ほど、音楽ホールのある葛飾文化会館(かつしかシンフォニーヒルズ)別館の2階で行っています。会場の地図などはインターネットで調べることができます。「葛飾区の日本語教室」で検索すると、区の多くの日本語ボランティア教室と一緒に出ているので、当会の所で調べてください。

木曜日の日本語教室は1998年に発足し今年16年目、常時学習者15名、ボランティアも15名ほどでここ2～3年は推移しています。ボランティアの方々は多種多様で主婦、学生、教師、会社員、年配キャリア組等の人達によって構成されています。一方、学

習者はアジア、中近東、アフリカその他の国から来ている人達で、学生、研修生、国際結婚した人、職業人等と様々です。

日本語学習支援に際しては、初心者には挨拶から生活言語、日本語能力試験受験希望者には試験に向けての勉強、などと個人の能力と目的にあわせるようになっています。

活動の特長としては、四季を通して4月はお花見、6月はポットラックパーティ、7月は柴又の花火、10月は国際交流まつり、

11月は日帰りバス旅行等、文化を通して学習しています。参加費はボランティアも学習者も毎月100円です

教室には毎回、1～2名の学習者が新たに見えますが、継続してくる方は少ない傾向です。続けること、休まないことが大切なボランティア精神だと思います。2013年は年間43回の教室を1日も休まず皆勤のボランティアの方もいました。笑顔で休まず続けることこそ国際交流の輪が広がるものと実感しています。

学習者の方は会話、ひらがな、カタカナ、漢字等、皆さん頑張っています。マンツーマンで学習する方、グループで会話中心の方、学び方いろいろで楽しい笑い声が聞こえてきます。



学習者の声

再び学生になる

朴姫鎮（パクヒジン）／韓国
町田国際交流センター（町田市）

主人の会社の関係で日本に来てからは3年目になります。

初めての日本の生活は大きな勇気が必要でした。生活に必要な会話をはじめとして、韓国での習慣もかえなければなりません。幼い子供に加え、妊娠までしていた私には、勉強どころか生活に適應することすら、とても大変でした。

出産後、二人になった子供たちに一つでも多くのことを見せ、経験させてあげたいと思いました。そのために日本語の勉強が絶対に必要でした。子供たちが寝ている時間に単語を覚えたり、会話本を読んだりしました。日本人と話す機会はほとんどありませんでしたが、少しずつ日本語に自信がついてきました。

このような状況の中、インターネットを通じて知った日本語の教室は斬新でした。別に保育料を出さなければならないが、勉強する時間の間、二人の子供を気にしないで集中することができました。日本人の先生と直接話すことができる機会もとても大切でした。

日常生活について、いろんなことを聞いてみたかったので、家で時間があるたびに辞書を調べたり、言いたいことを話す練習をしました。

授業時間の会話から、日本人の生き方とか考え方も少し理解することができました。自信がつき、もっと努力して勉強したいという意志が強くなりました。

多くの外国人たちが生活に必要な会話を学ぶために、または目標や夢をかなえるためにここに来て勉強をしています。私もその中の一人としてここに来て勉強しています。

いつか、日本の生活で感じたエピソードと話を本で書いてみたいし、私のように子供がいて勉強がしづらい外国人主婦のために、教育の施設も作りたいと思います。

夢があるということは良いことです。夢が叶うように、もっと勉強の意欲が増すように情熱を傾けて下さる先生方に感謝します。



ボランティアの声

岡村眞理

私も学習者!?

町田国際交流センター（町田市）／日本語教室部会長

町田で日本語支援を始めて10年以上がたち、出会えた学習者は100名を超すだろうか。私は支援者の立場でありながら彼らから実に様々なことを学び、毎回新鮮な驚きや感動をもらっている。まったくどちらが学習者かわからない状況になることが多々あるのだからおもしろい。

読み書きを学習したいと来室したフィリピン出身の18歳のR君は故郷に仕送りをしながら、ぎりぎりの状況で生活していた。なんと彼は月給の半分以上を国の祖父母、親戚、彼のガールフレンドへの仕送りに充てているという。「みんな家族だからそんなのあたりまえだよ。」と屈託のない笑顔で言われると、自分

で稼いだお金はすべて自分のものだと思っている私は恥ずかしくて穴があったら入りたい思ってしまった。

また、彼の話す日本語は現場で覚えたまさしくサバイバル。「漢字はちょー苦手。ホントやばいよ!」来日2年弱の彼の口からはいわゆる机上では習得し得ない、生き生きとした言葉がぼんぼんと飛び出す。「どうしたらそんなに自然な日本語が話せるようになるの?」と長年英会話スクールに通っているのにちょっとも上達している感じがしない私はさすがに問うてみた。彼はこともなげに「聞いて、まねする。それだけ!」と言う。そして続けて「フィリピン人はみんな3つぐらいの言葉を話すからね、きっと耳が良くて新しい言葉を覚えるのが速いんだ。」と解説してくれた。つまり母国の言語事情が新しい言語の習得をスムーズにさせているらしい。彼は決して「正しく」はないが、確かに「生きた」日本語で私に外国語の習得法を熱く語り、その日の学習は終了した。

「どうもありがとうございました。」深々と頭を下げたのはもちろん私のほうだった。



右:岡村さん

◎2014年度役員・スタッフ・運営委員

代表 **梶村 勝利** (早稲田奉仕団日本語ボランティアの会・新宿区)
 事務局長 **林川 玲子** (ビバ日本語教室・港区)
 会計 **矢崎 理恵** (社会福祉法人 さほうと21・品川区)
 会計 **山本 英子** (小平日本語ボランティアの会・一ツ橋学園・小平市)
 会計監査 **嶋田 信子** (グッドナイト日本語・江東区)
 スタッフ **岡田 美奈子** (やさしい日本語・江東区)
大木 千冬 (町田日本語の会・町田市)
小川 伶子 (初歩日本語・練馬区)
床呂 英一 (まちだ地域国際交流協会・町田市)
鶴田 環恵 (ニュースレターレイアウト・在宅)
大滝 敦史 (ホームページ管理・在宅)
松川 彩子 (HP学習者からの問合せ対応・在宅)
 運営委員 **武貞 明子** (東久留米にほんごクラス・東久留米市)
中山 真理子 (中野区国際交流協会・中野区)
坂本 弘一 (かけはし・足立区)
渡辺 紀子 (まちだ地域国際交流協会・町田市)

◆TNVN第21回総会・ 情報交換会に出席した団体

まちだ地域国際交流協会(町田市)、
 町田日本語の会(町田市)、八王子
 国際友好クラブ日本語教室(八王
 子市)、府中国際交流サロン(府中
 市)、武蔵村山日本語の会(武蔵村
 山市)、小平日本語ボランティアの会
 (小平市)、東久留米にほんごクラス
 (東久留米市)、公益財団法人東京
 YWCA武蔵野センター(武蔵野市)、
 日本語ボランティア翼の会(羽村
 市)、やさしい日本語(江東区)、グ
 ッドナイト日本語(江東区)、LTC友の会
 あさがや(杉並区)、早稲田奉仕団日
 本語ボランティアの会(新宿区)、光
 が丘やさしい日本語(練馬区)、NPO
 法人IWC国際市民の会(品川区)、
 社会福祉法人 さほうと21(品川区)



TNVN 東京日本語ボランティア・ネット
 ワークはボランティア日本語学習支援活動
 を行っている団体のネットワークです。
 TNVN の会員はそれぞれ地域での日本語
 学習支援活動を通して、言葉のため日常
 生活に不自由を感じている外国人などを、
 隣人として支援しています。TNVN は会
 員への情報提供・会員相互の情報交換、
 および外部との情報受発信を行い、活動
 の活性化を図ります。

◎2014年度TNVNスタッフの活動計画

2013年度と同様、下記の活動を進めていきます。

- ① ニュースレター (TNVN Network News) を編集・発行します。
 No.86(6月13日)、No.87(9月12日)、No.88(12月12日)、No.89(2105年3月13日)に発行を予定しています。
 各地域で活動している団体・教室の様子やご意見・ご提案を掲載していきますのでご協力をお願いします。また自主的な投稿をお待ちしています。
- ② TNVNホームページの公開
 「ボランティア日本語教室ガイド2014東京」を3月に発行しました。
 多くの日本語学習希望者や支援者がホームページにアクセスしています。
 活動内容に変更が出ましたら訂正をしますのでTNVN事務局宛に連絡下さい。
- ③ 事務局での相談・情報交換
 毎週金曜日14:00から16:00まで東京ボランティア・市民活動センター(飯田橋)のロビーで開いています、お気軽にお越し下さい。
- ④ 地域での日本語ボランティア講習会への協力(出前講習会)
- ⑤ 「わかる日本語」研究会を継続して開きます。
- ⑥ 東京都国際交流委員会・国際交流・協力TOKYO連絡会、その他関係機関・団体との連携・協力

東京日本語ボランティア・ ネットワーク事務局の活動

- ◆日時：毎週金曜日
 第1、第3 金曜日／午後2時～4時
 第2、第4 金曜日／午後2時～6時
 第5 金曜日／休み
- ◆場所
 東京ボランティア・市民活動センター
 JR、地下鉄(東西線・有楽町線・南北線・大江戸線)出口 B2b 飯田橋駅下車
 セントラルプラザビル 10F ロビー
- ◆日本語ボランティア相談窓口
 日本語ボランティアの活動についてのご相談・ご質問にベテランスタッフが応えています。メール・電話でご確認の上、気軽にお越し下さい。また、メールでのお問い合わせにもお応えています。ご意見もお待ちしております。
- 〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸 1-1
 東京ボランティア・市民活動センター
 メールボックス No.4
- ◆TEL：03-3235-1171
 (呼出：金曜日活動時間帯のみ)
- ◆FAX：03-3235-0050
- ◆E-mail：webadmin@tnvn.jp
- ◆URL：http://www.tnvn.jp/
- ◆郵便局払込
 口座番号：00100-1-719259
 加入者名：東京日本語ボランティア・ネットワーク

- ◆新会員紹介
 スペース・アイ (渋谷区)
 韓日社会文化フォーラム (韓国)
 外国人生徒学習の会 (FSC) (墨田区)
 にほんごの会談話室 (世田谷区)
- ◆会員数 (2014年5月9日現在)
 正会員：84団体、団体協力会員：1団体
 個人協力会員：15名、賛助会員：4団体
- ◆編集 / 大木千冬、岡田美奈子、小川伶子、
 梶村勝利、床呂英一、林川玲子、山本英子
- ◆レイアウト / 鶴田 環恵

column 「①ご苦労様」と「②お疲れ様」

「学習者に『お疲れ様でした』と言われ
 てがっかりした」とある支援者に言われ
 びっくりした。②の言葉には問題があるの
 か。会社員時代には上司に対し②を使っ
 ていた。インターネットで調べたら「以前は
 目上へのねぎらいの言葉も①だけで良か
 ったが、今は芸能界などの言葉の②を同僚、
 目上向けの言葉として使うようになってい
 る」とのことである。明鏡国語辞典では
 「①-相手の骨折りをねぎらう丁寧語 ②-
 目上には②が自然」とある。春原先生にお
 聞きした。「社会生活で立ち去る上司に部
 下が②と言うのは問題ない。しかし日本語
 教育においては生徒が立ち去る先生に、ま
 たはねぎらいの場面で②はおかしい。『あ
 りがとうございました。』と言うべきであ

る。後者の場合は『専門家』と『非専門家』
 との間柄の会話であり、お礼の関係だから
 ある。」というのがご回答であった。

日本語ボランティアの世界では、①と②
 の使い分けの他に上記の春原先生のお言葉
 のように「ありがとうございました。」を
 使うということを教えた方がよさそうだ。
 (床呂英一)

